

会 議 録

(6-1)

会 議 の 名 称		令和6年度第2回春日部市総合振興計画審議会		
開 催 日 時		令和6年10月16日（水）	開 会	午前10時00分
			閉 会	午前11時50分
開 催 場 所		市役所2階 201～203 会議室		
議長(会長等)氏名		宣 賢奎		
出席者	委員氏名	(出席人数：14人) 新井 義昭、伊澤 秀雄、石倉 まち子、大柴 英俊、角辻 直美、川鍋 秀雄、佐藤 杉弥、宣 賢奎、立花 建一、長嶋 佐央里、長谷川 肇之、早川 芳夫、藤田 洋平、吉田 理子 (50音順敬称略)		
	説明者 その他	(出席人数：10人) 総合政策部長 波多野 康治 総合政策部次長兼政策企画課長 川村 明 政策企画課政策企画担当主幹 小山 裕一 政策企画課政策企画担当主幹 星 大輔 学務指導担当次長兼指導課長 佐山 宏樹 指導課指導担当主査 河野 健介 こども育成課放課後児童クラブ担当主幹 臼倉 徹哉 こども育成課放課後児童クラブ担当主査 高橋 弘道 環境経済部次長兼農業振興課長 浜村 三博 農業振興課農業振興担当主幹 萩原 康司		
	事務局	(出席人数：7人) 総合政策部長 波多野 康治 総合政策部次長兼政策企画課長 川村 明 政策企画課政策企画担当主幹 小山 裕一 政策企画課政策企画担当主幹 星 大輔 政策企画課政策企画担当主査 照井 和枝 政策企画課政策企画担当主事 土居 昌弥 政策企画課政策企画担当主事 加藤 清峻		
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 （1）第2次春日部市総合振興計画後期基本計画、第2期春日部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗に対する「市民評価」 4 事務連絡 5 閉会 (全て公開)		

一部公開・非公開 の場合はその理由	☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：
配 布 資 料	会議次第 令和5・6年度 春日部市総合振興計画審議会委員名簿 令和6年度第2回春日部市総合振興計画審議会 座席表 【資料①】資料更新一覧 【資料②】重点・再検討事業シート（市民評価記載） 【資料③】実施計画事業成果指標設定根拠一覧 【資料④】「市民評価」実施概要 【資料⑤】各グループ市民評価資料
会議録の作成方法	☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録
会議録署名の指定	会長による署名

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	【開会】 【会長あいさつ】 【議事】 (1) 第2次春日部市総合振興計画後期基本計画、第2期春日部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗に対する「市民評価」 説明者 《資料①から⑤に基づき説明》 議 長 ただいまの説明について意見等がありますか。 委 員 《なし》 委 員 《A・B・Cグループごとに市民評価実施》 議 長 各グループのとりまとめ結果について、事務局から報告をお願いします。 事務局 ○Aグループ 「No.26 教育相談センター運営事業」について報告します。 主な意見として、「不登校、いじめ問題について、関係機関に対して、相談後の結果報告をおこなってほしい」「児童相談所を春日部市に設置してほしい」「一人一人に目を向けた教育や指導をする必要がある」「小学校からいじめがあった場合、中学校での不登校につながる可能性があるため、早期から対応する必要があると考える」「市と連携している協議会や組織との連携を見えやすくし、相談や対応、面談、分析等の結果を整理したうえで共有することができる体制の強化が必要と考える」「不登校解消だけが結果ではなく様々な情報を整理した上で、評価基準の見直しをするべきであるとする」などがありました。 事務局 ○Bグループ 「No.37 放課後こども教室推進事業」について報告します。 主な意見として、「事業の目的の明確化、現場の問題点を事業担当課へフィードバックできる仕組みの構築など、体制整備が必要と考える」「実施主体である市の担当課が現場の状況を把握し、コーディネーターの方や協力者に対する支援を強化することで、事業の推進が図られると考える」などがありました。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	○Cグループ 「No.167 農産物紹介事業」について報告します。 主な意見として、「米粉生産へどのようにシフトしていくかが課題である」「農産物のPRについて、効果的な方法を検討しつつ、「春日部といえば」という切り口で、春日部ブランドを確立してほしい」「PR した後の販売のバックアップまで検討してほしい」「事業全体としては、まずやってみて、検討・見直しを重ねながら進めてほしい」などがありました。
議 長	各グループの結果について意見等がありますか。
委 員	《なし》
議 長	市当局においては、委員の皆様からいただいた意見等をしっかり受け止めて、今後の政策に生かしてください。
議 長	続きまして、令和5年度の施策、総合戦略 及び 重点プロジェクトに対する総括をしたいと思います。
議 長	令和5年度の施策に対する総括は、 「達成度A以上となった施策が全体の 85.7%となったことは評価できます。 特に、基本目標1「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」において、「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」の達成率が小中学ともに 100%を超えるなど、こどもの自己肯定感を高める教育が推進されている点は評価できます。 一方、いじめや不登校児童への支援については、どのような成果指標が適切か、内容や年度数値目標も含め、慎重に検討する必要があります。 今後も、まちの将来像の実現に向けて、社会情勢の変化に柔軟に対応しつつ、各施策を推進してください。」 としたいと考えますが、よろしいでしょうか。
委 員	《承認》
議 長	それでは、施策に対する審議会としての評価は、さきほどの総括のとおりとさせていただきます。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	続いて、令和5年度の総合戦略に対する総括は、 「達成度A以上となった施策が全体の85.8%となったことは評価できます。 一方、基本目標1「子育て世代に選ばれる地域創生戦略」において、「放課後子ども教室の登録児童の割合」の達成率が56.4%となっており、進捗が遅れています。新たな体験活動の教室実施数を増やすことに加え、事業の周知や参加しやすい環境づくりを実施することで、青少年体験活動の充実を図る必要があると考えます。 また、児童育成支援拠点事業など、次年度以降開始となる事業が多くあるため、既存の事業と併せて、進捗に遅れないよう留意して推進してください。 今後も、本市の目指すべき人口の将来展望の実現に向けて、4つの基本目標をバランスよく推進してください。」 としたいと考えますが、よろしいでしょうか。
委 員	《承認》
議 長	それでは、総合戦略に対する審議会としての評価は、さきほどの総括のとおりとさせていただきます。
議 長	最後に令和5年度の重点プロジェクトに対する総括は、 「達成率が80～120%となった事業の割合が全体の76.2%となったことは評価できます。 特に、「特長を生かしたしごとを創出するまちプロジェクト」において、「春日部産米の米粉を活用する協力店数」の達成率が540%となり、協定締結団体と連携し事業PRを行ったことにより、目標値を大幅に上回ったことは評価できます。 一方、「農産物の延べ紹介品目数」の達成率が33.3%となっており、進捗が大幅に遅れています。事業の主体的なPRや、他事業とのリンクを含め、事業の再検討が必要であると考えます。 今後も、だれもが「住んでみたい、住み続けたい」と思う、だれからも「選ばれるまち」を目指し、5つのプロジェクトを重点的に推進してください。」 としたいと考えますが、よろしいでしょうか。
委 員	《承認》
議 長	それでは、重点プロジェクトに対する審議会としての評価は、さきほどの総括のとおりとさせていただきます。 【4 事務連絡】 【5 閉会】

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 6 年 1 0 月 2 9 日

署名者の職・氏名 春日部市総合振興計画審議会 会長 宣 賢奎（原本は自著）